

# キャリア形成プログラム

(腎臓内科学教室)

取得を目指す専門医資格	透析専門医
-------------	-------

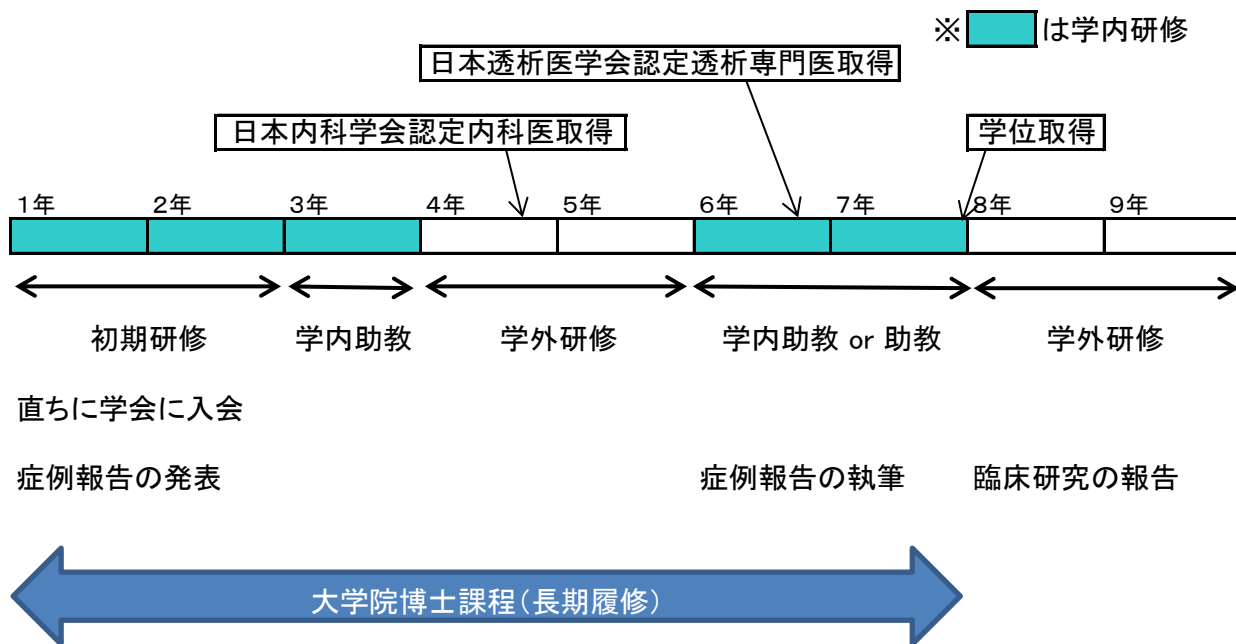
## 【コースの概要】

### 全体像

日本透析医学会認定透析専門医取得するために、卒後4～5年で日本内科学会認定内科医を取得する。その後、透析専門医を取得する。初期研修中には認定内科医取得のため、さまざまな症例を受け持ち、認定内科医を取得する。3年目以降は、主に腎臓内科、膠原病、各種血液浄化法、透析導入症例、透析合併症の症例を受け持つ。手技的には、腎生検、さまざまなシャントの手術、経皮的シャント拡張術・血栓除去術(PTA)、種々の血液浄化法の回路の組み立て、透析用カテーテルの挿入などの研修を行い、その手技やその他関連の手技を取得する。学位取得を希望する場合には、下記期間大学院への入学が可能で、専門医取得と平行していくことが可能である。研究活動としては、1～3年目では症例報告の発表、6～7年目で症例報告の執筆、8～9年目で臨床研究報告を行う。6年目以降であれば、希望により国内留学、海外留学も可能となる。

卒後9年後には、本学において教室の中心的な役割を担ったり、地域の中核病院のスタッフとして活躍することが可能となる。

### ・9年間の研修予定(モデルコース)



## 指導体制

### ・研修先病院

学会認定施設	研修病院名	診療科	指導者数 (人)	うち専門医 数(人)	受入可能最大 人数(人)
○	済生会和歌山病院	腎センター	1	1	1
○	紀南病院	内科・人工透析部	3	1	2
×	新宮市立医療センター	内科	3	0	2

### ・専門医について

学 会 名	日本透析医学会
資 格 要 件	医師免許 1)日本内科学会, 日本外科学会いずれかの認定医, あるいは専門医, 2)日本泌尿器科学会, あるいは日本小児科学会の専門医, 3)日本麻酔科学会の専門医 1), 2), 3) のいずれかを有している。 臨床経験 5年以上 計5年以上主として透析療法に従事していること 学会出席, ならびに業績において30単位を満たしている。 本学会会員歴 3年以上 本学会の専門医認定試験および審査において適格と判断された者

# キャリア形成プログラム

(腎臓内科学教室)

取得を目指す専門医資格	腎臓専門医
-------------	-------

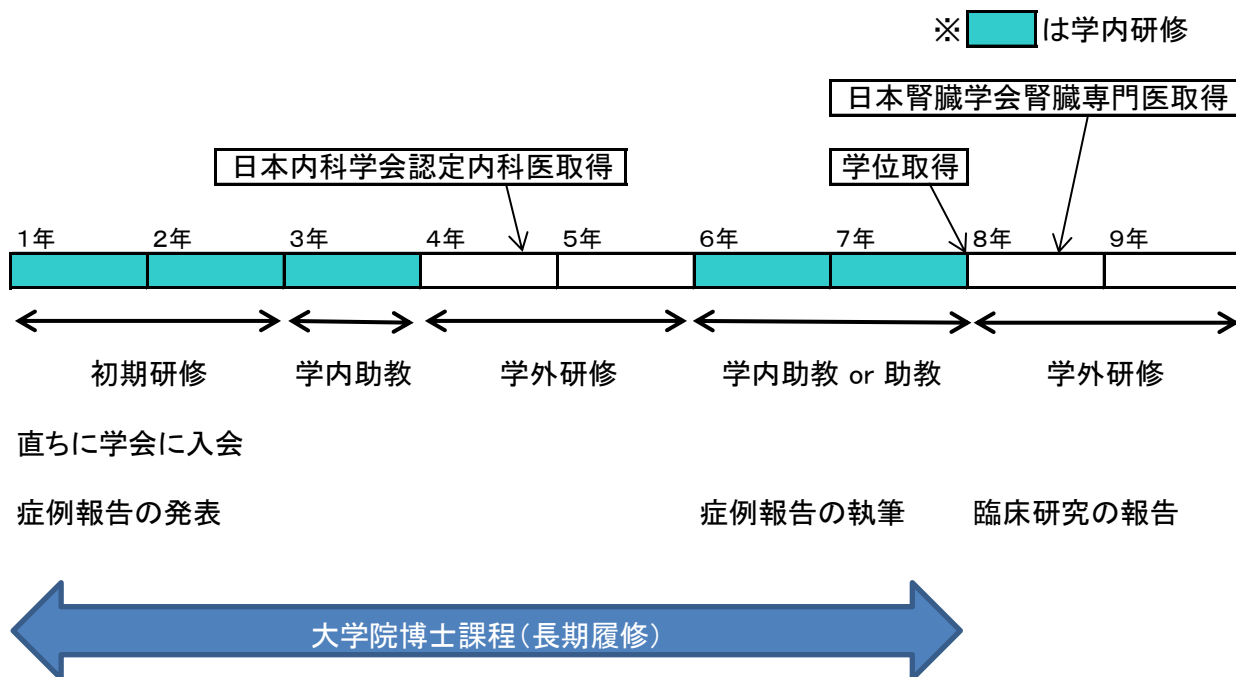
## 【コースの概要】

### 全体像

まず日本内科学会認定内科医を取得する。その後、日本腎臓学会の腎臓専門医を取得する。初期研修中には認定内科医取得のため、さまざまな症例を受け持ち、認定内科医取得3年後には腎臓専門医を取得する。3年目以降は、主に腎臓内科、膠原病、各種血液浄化法、透析導入症例、透析合併症の症例を受け持つ。手技的には、腎生検、さまざまなシャントの手術、経皮的シャント拡張術・血栓除去術(PTA)、種々の血液浄化法の回路の組み立て、透析用カテーテルの挿入などの研修を行い、その手技やその他関連の手技を取得する。その期間中には、腎臓の病理組織を理解できるよう研修する。学位取得を希望する場合には、下記期間大学院への入学が可能で、専門医取得と平行していくことが可能である。研究活動としては、1～3年目では症例報告の発表、6～7年目で症例報告の執筆、8～9年目で臨床研究報告を行う。6年目以降であれば、希望により国内留学、海外留学も可能である。

卒後9年後には、本学において教室の中心的な役割を担ったり、地域の中核病院のスタッフとして活躍することが可能となる。

### ・9年間の研修予定(モデルコース)



## 指導体制

### ・研修先病院

学会認定施設	研修病院名	診療科	指導者数 (人)	うち専門医 数(人)	受入可能最大 人数(人)
×	済生会和歌山病院	腎センター	1	1	1
×	紀南病院	内科・人工透析部	3	0	2
×	新宮市立医療センター	内科	3	0	2

### ・専門医について

<b>学 会 名</b>	日本腎臓学会
<b>資 格 要 件</b>	医師免許 日本内科学会認定専門医取得後3年以上, あるいは日本泌尿器科学会, 日本小児科学会 日本外科学会専門医取得後1年以上 学会認定の施設において3年以上の臨床研修(卒後2年の初期研修は含まない) 本学会会員歴 5年以上 本学会の専門医認定試験および審査において適格と判断された者

# キャリア形成プログラム

(腎臓内科学教室)

取得を目指す専門医資格	血漿交換療法専門医
-------------	-----------

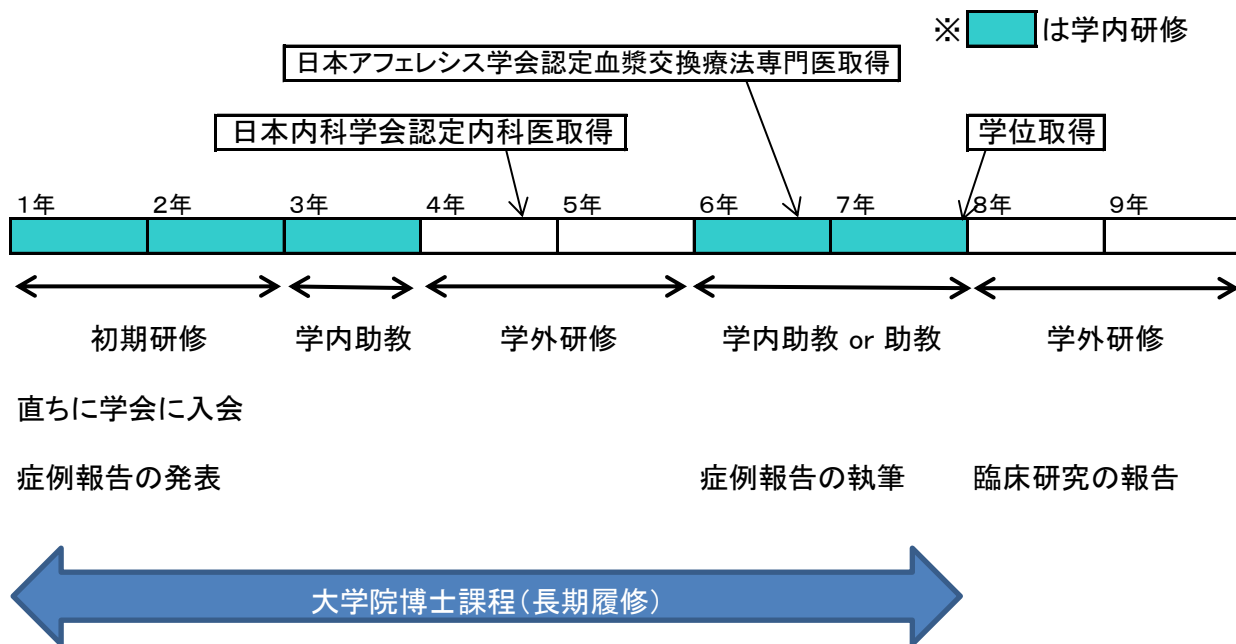
## 【コースの概要】

### 全体像

まず日本内科学会認定内科医を取得する。その後、日本アフェリシス学会の血漿交換療法専門医を取得する。初期研修中には認定内科医取得のため、さまざまな症例を受け持ち、認定内科医を取得する。3年目以降は、主に腎臓内科、膠原病、透析導入、各種アフェリシス施行症例、透析合併症の症例を受け持つ。手技的には、腎生検、さまざまなシャントの手術、経皮的シャント拡張術・血栓除去術(PTA)、種々の血液浄化法の回路の組み立て、透析用カテーテルの挿入などの研修を行い、その手技やその他関連の手技を取得する。その期間中には、腎臓の病理組織を理解できるよう研修する。学位取得を希望する場合には、下記期間大学院への入学が可能で、専門医取得と平行していくことが可能である。研究活動としては、1～3年目では症例報告の発表、6～7年目で症例報告の執筆、8～9年目で臨床研究報告を行う。6年目以降であれば、希望により国内留学、海外留学も可能である。

卒後 9年後には、本学において教室の中心的な役割を担ったり、地域の中核病院のスタッフとして活躍することが可能となる。

### ・9年間の研修予定(モデルコース)



## 指導体制

### ・研修先病院

学会認定施設	研修病院名	診療科	指導者数 (人)	うち専門医 数(人)	受入可能最大 人数(人)
×	済生会和歌山病院	腎センター	1	0	1
×	紀南病院	内科・人工透析部	3	0	2
×	新宮市立医療センター	内科	3	0	2

### ・専門医について

<b>学 会 名</b>	日本アフェレンス学会
<b>資 格 要 件</b>	<p>医師免許</p> <p>日本内科学会, 日本外科学会, 日本泌尿器科学会, 日本小児科学会, など学会が認定している18の学会の認定・専門医を取得していること</p> <p>学会認定の施設において5年以上の臨床研修</p> <p>本学会会員歴 5年以上</p> <p>学会認定の業績が30点以上</p> <p>申請時において過去5年間で本学会に2回出席していること</p> <p>本学会の専門医認定試験および審査において適格と判断された者</p>

# キャリア形成プログラム

(腎臓内科学教室)

取得を目指す専門医資格	リウマチ専門医
-------------	---------

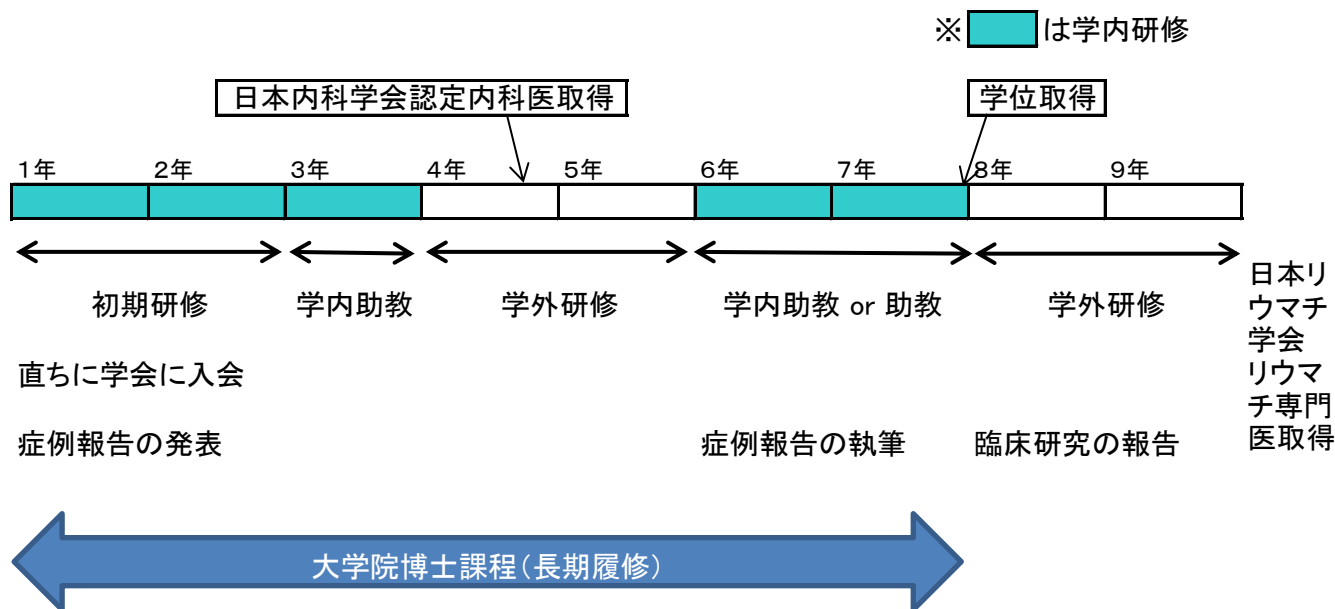
## 【コースの概要】

### 全体像

まず日本内科学会認定内科医を取得する。その後、日本リウマチ学会のリウマチ専門医を取得する。初期研修中には認定内科医取得のため、さまざまな症例を受け持つ。3年目以降は、腎臓内科各種血液浄化法、透析合併症の症例と併せて、関節リウマチ症例を含め、さまざまな膠原病の症例を受け持つ。学位取得を希望する場合には、下記期間大学院への入学が可能で、専門医取得と平行していくことが可能である。研究活動としては、1～3年目では症例報告の発表、6～7年目で症例報告の執筆、8～9年目で臨床研究報告を行う。6年目以降であれば、希望により国内留学、海外留学も可能である。

卒後9年後には、本学において教室の中心的な役割を担ったり、地域の中核病院のスタッフとして活躍することが可能となる。

### ・9年間の研修予定(モデルコース)



**指導体制**

**・研修先病院**

学会認定施設	研修病院名	診療科	指導者数 (人)	うち専門医 数(人)	受入可能最大 人数(人)
×	済生会和歌山病院	腎センター	1	0	1
×	紀南病院	内科・人工透析部	3	0	2
×	新宮市立医療センター	内科	3	0	2

**・専門医について**

<b>学 会 名</b>	日本リウマチ学会
<b>資 格 要 件</b>	<p>医師免許</p> <p>日本内科学会, 日本外科学会, 日本泌尿器科学会, 日本小児科学会, など学会が認定している学会の認定・専門医を取得していること</p> <p>学会認定の施設において5年以上のリウマチ学の臨床研修</p> <p>本学会会員歴 5年以上</p> <p>学会認定の業績が30単位以上</p> <p>本学会の専門医認定試験および審査において適格と判断された者</p>